

# マレーシアにおける 国民的「主体」形成 ——地域研究批判序説——

序章	学問分野の成立と「主体」形成	1
	——植民政策学から地域研究へ——	
第1節	問題の所在	
第2節	学問分野の成立と「主体」形成	
第3節	地域研究と国民的「主体」形成	

## 第1部 植民政策学の時代

第1章	植民地時代のマレー研究	32
第1節	国民的な想像を可能にするもの	
第2節	「マレー諸島」から「マレー半島」へ	
第3節	自然誌から通史へ	
第4節	「人種」概念の登場	
第5節	マレー語研究の誕生	
第2章	失われたマレー的なもの	51
第1節	『マレー研究論集』	
第2節	マレー的なものを記述する	

## 第2部 「現地」の側の研究

第3章	アブドゥッラーとザッバにみるマレー語論	76
第1節	アブドゥッラーとマレー語	
第2節	ザッバの民族語構想	

第4章	独立期マラヤの国語論	94
第1節	独立以前の国語論	
第2節	独立後の国語論	
第3節	「マラヤ」をこえる	
 <b>第3部 地域研究の時代</b>  		
第5章	東南アジア地域研究	112
第1節	太平洋問題調査会と第二次世界大戦	
第2節	冷戦期における東南アジア地域研究の展開	
第3節	「東南アジア」における東南アジア地域研究	
第6章	ファーニヴァルのプルーラル・ソサエティ論	125
第1節	プルーラル・ソサエティ論	
第2節	プルーラル・ソサエティ論の特徴	
第3節	プルーラル・ソサエティ論における折衝の痕跡	
第7章	プルーラル・ソサエティ論の地域研究的展開	149
第1節	地域研究成立期におけるマラヤへのまなざし	
第2節	地域研究における三大民族のルーティン化	
第3節	新たな抑圧の誕生と攪乱	
第8章	地域研究の「現地」化	174
第1節	マラヤ大学の設立	
第2節	人種主義と領有	
第3節	プルーラル・ソサエティを超克する	
終章	「地域」の不可能性	216
参考文献		222